

① 江蘇省の概要

面積：107,200 k m²

人口：8,050.7万人（2018年末現在）

省都：南京市

地勢・気候：中国大陸の東部沿海地区に位置し、揚子江、淮河の下流、東は黄海西は安徽省に連なり、南は浙江省、北は山東省と境界を接する。

気候は亜熱帯から温帯に属している。平坦な地勢で平原が広く、湖や河川が交錯し、水路網が発達している。

産業構造：第1次産業 2.9%

第2次産業 44.3%

第3次産業 52.8%（2019年6月現在）

資料：江蘇省人民政府ホームページより

② 南京市の概要

面積：6,587 k m²

人口：843.62万人（2018年末現在）

気候：1月平均最低気温 2.7℃

7月平均最高気温 28.1℃

年間降水量 1,090.4mm

資料：南京市人民政府ホームページより

③ 中国江蘇省との交流状況

ア 県の交流

(7) 知事、省長等の訪問

平成6年10月の知事等（鹿児島商工会議所会頭、(社)鹿児島県工業倶楽部会長等が同行）の江蘇省訪問を皮切りに、両県・省間の相互訪問が始まり、これまでに、本県から合計で11訪問団が江蘇省を訪問、江蘇省からは合計8訪問団が来鹿した。

(1) 農業分野の交流

昭和60年度から、農業分野の試験研究機関等の関係者が相互に訪問し、農用物資、農業技術情報の交換等の交流を実施。（平成7年度：4名受入れ、平成8年度：3名派遣、平成9年度：4名受入れ、平成10年度：3名派遣、平成11年度：4名受入れ、平成12年度：3名派遣、平成13年度：6名受入れ、平成14年度から相互訪問は中止）

(ウ) 調査団等の派遣

平成9年2月の農政部技術次長を団長とする調査団派遣から、平成14年2月までに合計6調査団を派遣した。

(I) 鹿児島・江蘇省交流協議会

- ・平成10年8月 第1回鹿児島・江蘇省交流協議会（江蘇省）
- ・平成12年2月 第2回鹿児島・江蘇省交流協議会（鹿児島）
- ・平成13年1月 第3回鹿児島・江蘇省交流協議会（江蘇省）
- ・平成14年2月 第4回鹿児島・江蘇省交流協議会（鹿児島）
- ・平成14年12月 第5回鹿児島・江蘇省交流協議会（江蘇省）
- ・平成16年2月 第6回鹿児島・江蘇省交流協議会（鹿児島）
- ・平成17年1月 第7回鹿児島・江蘇省交流協議会（江蘇省）

- ・平成18年2月 第8回鹿児島・江蘇省交流協議会（鹿児島）
- ・平成19年2月 第9回鹿児島・江蘇省交流協議会（江蘇省）
- ・平成20年2月 第10回鹿児島・江蘇省交流協議会（鹿児島）
- ・平成20年10月 第11回鹿児島・江蘇省交流協議会（江蘇省）
- ・平成22年1月 第12回鹿児島・江蘇省交流協議会（鹿児島）
- ・平成23年1月 第13回鹿児島・江蘇省交流協議会（江蘇省）
- ・平成23年9月 第14回鹿児島・江蘇省交流協議会（鹿児島）
- ・平成25年2月 第15回鹿児島・江蘇省交流協議会（江蘇省）
- ・平成26年3月 第16回鹿児島・江蘇省交流協議会（文書協議）
- ・平成26年12月 第17回鹿児島・江蘇省交流協議会（江蘇省）
- ・平成28年1月 第18回鹿児島・江蘇省交流協議会（鹿児島）
- ・平成29年1月 第19回鹿児島・江蘇省交流協議会（江蘇省）
- ・平成30年2月 第20回鹿児島・江蘇省交流協議会（鹿児島）
- ・平成31年1月 第21回鹿児島・江蘇省交流協議会（江蘇省）
- ・令和2年3月 第22回鹿児島・江蘇省交流協議会（文書協議）

(オ) 視察団の受入れ

- ・平成6年7月の江蘇省外事弁公室副主任一行4名の出納長表敬訪問から、平成30年12月の江蘇省農業委員会5名の訪問まで、合計37視察団を受入れた。

(カ) 鹿児島県中国商談会の南京市等での開催

- ・平成7年10月、南京市及び広州市
- ・平成8年9月、南京市、香港及び上海市

(キ) 江蘇省との青少年交流

- ・平成7年度の「鹿児島はばたけ青少年の船事業」から始まり、平成9年度からは「鹿児島県青少年海外ふれあい事業」、平成18年度からは「ユースウイングかごしま事業」として実施。平成25年度以降は、「環黄海青少年派遣事業」として実施している。
- ・鹿児島の青年を中国（上海市、蘇州市）に派遣し、中国の実情の参観や中国の青年との交流等を行った（平成28年度までに、17団体・1,612人を派遣）。

(ク) 海外技術研修員の受入れ

- ・昭和63年度から、中国の海外技術研修青年をほぼ毎年1名ずつ受入れており、特に平成3年度からは、江蘇省からほぼ毎年1名ずつ受入れている（令和元年度までに29名）。

(ケ) 国際交流員の配置

- ・江蘇省から国際交流員を招致し、国際交流課に配置（令和元年度までに24名）。

(コ) 自治体職員協力交流事業による省政府等職員の受入れ

- ・平成10年度 江蘇省人民政府職員（一般行政）9か月間
- ・平成12年度 江蘇省徐州市職員（一般行政）9か月間
- ・平成14年度 江蘇省国際交流センター職員（一般行政）9か月間
- ・平成16年度 江蘇省常州市職員（一般行政）9か月間

(カ) 鹿児島県・江蘇省スポーツ国際交流事業

- ・バレーボール競技（平成12年度（南京）、平成13年度（鹿児島））
- ・バドミントン競技（平成14年度（南京）、平成15年度（鹿児島））
- ・ソフトボール競技（平成16年度（南京）、平成17年度（鹿児島））
- ※ 平成18年度から隔年実施
- ・サッカー競技（平成19年度（南京）、平成21年度（鹿児島））
- ※ 平成21年度から中止

(シ) 江蘇省への専門家派遣

平成12年12月から、江蘇省が希望する分野の専門家を派遣し、省開催のセミナーでの講演等を行っている。

【平成12年度：環境（大気）、平成13年度：環境（水質）、平成14年度：環境（廃棄物）、平成15年度：観光、平成16年度：環境（水質）、平成17年度：環境（ISO14001）、平成18年度：畜産、平成19年度：休止、平成20年度：医療、平成21年度：農産物加工・保存、平成22年度：精神保健福祉対策、平成23年度：幼稚園教育、平成24年度：休止、平成25年度：農業、平成26年度：土木、平成27年度：農業（果樹）平成28年度：精神保健福祉対策、平成29年度：観光、平成30年度：水産、令和元年度：林業】

(ス) 新県庁舎知事応接室に刺繍を展示

平成9年3月、蘇州市刺繍研究所製作の刺繍を新県庁舎知事応接室に展示。

※ 平成16年4月の県民交流センターの開館に伴い、現在は同センター1階に展示。

(セ) 中国語の研修

- ・平成9年度は、江蘇省に県職員を派遣し、南京師範大学において語学研修を実施（平成9年9月2日～12月22日までの約4か月間）。
- ・平成10年度は、江蘇省に県職員を派遣し、南京師範大学において語学研修を実施（平成10年9月1日～平成11年1月30日までの5か月間）。
- ・平成11年度から毎年（平成17～20年度は休止）、南京師範大学での語学研修及び江蘇省国際交流センターでの実務研修を実施（1年間）。

イ 市町村の交流（友好交流協定等）

- ・薩摩川内市－常熟市（平成3年7月）
- ・南さつま市－宿遷市（平成14年10月）
- ・湧水町－淮安市洪澤県（平成10年7月交流開始）

④ 中国江蘇省以外の中国地域との交流状況

ア 県の交流

(7) ジェトロ上海センターへの鹿児島県職員派遣

- ・平成8年度から上海ジェトロ事務所に鹿児島県職員を派遣し、研修実施
- ・平成9年7月に上海事務所を設置（ジェトロ上海センター内）。

(4) 社団法人鹿児島県特産品協会上海駐在事務所（鹿児島県上海事務所）を開設

- ・平成22年7月に社団法人鹿児島県特産品協会上海駐在事務所を開設し、鹿児島県職員を派遣。

(5) 大連・上海への志布志港ポートセールスミッション・観光ミッション・上海線要望の派遣

- ・平成11年8月、知事一行が大連・上海を訪問し、貿易促進交流会やポートセミナーを開催。知事はその後、江蘇省も訪問。
- ・平成13年10月、知事一行が東方航空チャーター便により大連・上海を訪問し、ポートセミナー、観光セミナーを開催するとともに、中国東方航空本社に対して上海線開設の要望を行った。
- ・平成14年10月、知事一行が上海を訪問し、ポートセミナーや観光物産展を開催。知事はその間、江蘇省も訪問。

(イ) 鹿児島・上海線関連の知事訪問

- ・平成14年8月, 平成15年9月, 知事一行が上海を訪問し, 鹿児島・上海線の利用促進や鹿児島と中国との観光交流促進について協力要請した。
- ・平成23年8月, 上海線増便を記念し, 知事等が上海を訪問。
- ・平成25年7月, 上海線路線維持要請のため, 知事等が上海を訪問。
- ・平成27年1月, 上海線の長期的・安定的運航要請のため, 知事等が上海を訪問。
- ・平成29年1月, 上海線の安定的運行及び拡充等要請のため, 知事等が上海を訪問。

(ロ) 上海でのアンテナショップの開催

- ・平成8年度から毎年, 上海第一八佰半で開催。
- ・平成11, 12, 13年度は, 上海第一八佰半で「鹿児島食品物産フェア」(かごしまイメージ定着化事業)を開催。(平成14年度は中止)
- ・平成14年度は, 上海第一八佰半で「上海航空路線開設記念物産展」を開催。

(ハ) 「ヤングネットワーク・ウイング九州」事業の実施

- ・本県の青年を九州7県の青年とともに参加させ, 中国, 韓国青年等との交流等を通じて国際的視野を広め, 国際平和, 友好親善等に資する。(昭和47～平成8年度までは「九州青年の船」事業として実施)
- ・平成17年度まで本県から約1,400名が参加。

(ニ) 海外旅行業者等招待事業の実施

- ・上海・広州等の訪日旅行を企画販売する旅行業者や旅行紹介記事を掲載するマスコミ記者等を本県に招請し, 本県観光地が入ったルートの商品化及び国際観光地としてのPRを促進する。(昭和56年度開始)
- ・中国からは, 平成11年度～平成17年度, 40団を招へい。以降, 平成17年度は15団471名, 平成18年度は10団560名, 平成19年度は17団175名, 平成20年度は20団324名, 平成21年度は12団82名, 平成22年度は11団134名, 平成23年度は32団429名, 平成24年度は23団217名, 平成25年度は23団284名, 平成26年度は17団体138名を招へい。

(ヒ) 華東交易会への出展

- ・平成18年3月に上海市で開催された総合見本市の華東輸出入商品交易会に県ブースを設置し, 県内企業4社が出展した。
※ 平成20年度は県内企業3社, 平成21年度は県内企業が9社出展した。

(ヘ) 主な訪問団(江蘇省以外)の受入れ

- ・中国政府人事部(平成7年), 全人代常務委員会(平成14年), 上海市(平成9, 15年), 大連市(平成10, 13, 15年), 中華全国青年連合会等(平成14年), 中国国際交流協会(平成15年), 上海県人会会長及び上海国際貿易センター役員会(平成15年), 浙江省義烏市(平成16年), 上海市人民対外友好協会(平成16年), 中国人民対外友好協会(平成18年), 中国港灣協会(平成18年), 中国国務院発展研究中心(平成19年), 上海市奉賢区(平成20年), 浙江省副省長(平成22年), 上海市外事弁公室(平成23年), 中国国際交流協会(平成24年), 日中メディア交流訪問団(平成27年)の訪問団, JENESYS 2.0中国青年メディア関係者代表団の受入れ

イ 市町村の交流(友好交流協定等)

- ・鹿児島市－湖南省長沙市(昭和57年10月)
- ・薩摩川内市－上海市嘉定区馬陸鎮(平成7年8月)
- ・霧島市－陝西省耀州区(平成7年10月)
- ・霧島市－湖南省瀏陽市(平成19年10月)

- ・南大隅町－上海市奉賢区庄行鎮（平成20年1月）

ウ 民間の交流

鹿児島県日中友好協会、鹿児島市日中友好協会、中国同人館、奄美市日中友好協会、薩摩川内市日中友好協会、鹿児島県日中友好教職員の会、その他各市町国際交流協会等の民間レベルでも青少年交流や研修視察団派遣などの友好交流、植林活動、学校建設支援などの活動を行っている。

エ 大学間の交流

- ・鹿児島大学は、湘潭大学(湖南省湘潭市)など、16大学と交流協定を締結し、研究者交流、学生交流、資料の交換等を行っている。
- ・鹿児島国際大学は、華東師範大学(上海市)及び大連外国語学院(遼寧省大連市)と交流協定を締結し、研究者交流、学生交流、資料の交換等を行っている。
- ・鹿屋体育大学は、上海体育学院(上海市)、渤海大学(遼寧省錦州市)及び天津体育学院(天津市)と交流協定を締結し、研究者交流、学生交流、資料の交換等を行っている。
- ・鹿児島県立短期大学は、南京農業大学国際教育学院(江蘇省南京市)と平成14年8月に「学術交流に関する合意書」に調印、平成17年9月に「交換留学協定書」に調印し、研究者交流、学生交流、資料の交換等を行っている。
- ・志學館大学は、長春師範学院(吉林省長春市)と平成21年9月に交流協定を締結し、学生交流等を行っている。
- ・鹿児島純心女子大学は、常熟理工学院(江蘇省常熟市)と平成23年10月に交流協定を締結し、学生交流等を行っている。

オ 高校の交流

- ・鹿児島東高校が、天津市の匯文中学(第34中学から校名変更)と平成10年10月に姉妹校盟約を締結、生徒間の訪問交流等を実施している。

カ 中国への修学旅行

- ・平成12年度は、合計18校(公立17、私立1)が実施。
- ・平成13年度は、合計2校(公立2)が実施。
- ・平成14年度は、合計6校(公立5)が実施。
- ・平成15年度は、実施校無し。(SARSの影響により中止又は行き先を変更)
- ・平成16年度は、合計3校(公立2)が実施。
- ・平成17年度は、合計3校(公立3)が実施。
- ・平成18年度は、合計3校(公立2)が実施。
- ・平成19年度は、合計3校(公立2)が実施。
- ・平成20年度は、公立1校が実施。
- ・平成21～22年度は、実施校無し。
- ・平成23年度は、私立1校が実施。
- ・平成24～30年度は、実施校無し。
- ・令和元年度は、私立1校が実施予定であったが、新型コロナウイルスの影響により中止。